

## 2024年度3年次編入学入試問題

### 人文学（出題意図及び解答）

#### （法文学部 言語文化学科）

出題意図：日本語のエッセイをもとにして読解力、表現力、論理的な文章構成能力を問う。

#### 問1

【出】筆者の考えを正しく理解できるかを問う。

【解】難しい言葉をやさしく言い換えたり、話すスピードを落としたり、複雑な構文を避けて文章を単純かつ短めにするといった工夫が求められている。

#### 問2

【出】筆者の考えを正しく理解し、それを的確に説明できるかを問う。

【解】災害の情報は命にかかわる重要なものであるが、難しい表現で述べられても、日本語に堪能でない外国人住民、外国人旅行者には、適切かつ迅速に把握するのは難しい。例えば、沿岸地域で大地震が起きた場合、「津波の到来が予想されます。高所に避難してください」と呼びかけられても、外国人は理解できず、逃げ遅れて命を落とす可能性がある。「津波だ！高いところに逃げろ！」と分かりやすい表現で伝えることが必要である。

#### 問3

【出】筆者の考えを正しく理解し、文脈を踏まえて、文章を作り変えることが出来るか、論理的思考能力を問う。

【解】私の友達は、大阪に住んでいます。私はその友達と2年前に渋谷へ行きました。そして、お好み焼きを食べました。その時、友達は言いました。「これはおいしくありません。私が作ったほうがおいしいです。」去年私は、大阪へ行きました。友達たちが、お好み焼きのホームパーティーをしてくれました。

#### 問4

【出】筆者の考えを正しく理解し、文脈を踏まえて、論理的に説明できるかを問う。

【解】多文化共生とは「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義される。つまり、日本人も、地域に住む外国人も、異なる言語・文化的背景・宗教をもつかもかもしれない。その際、どちらかに都合の良い言語だけを押し付けたり、どちらも苦手な英語を使うよりも、やさしい日本語を用い、理解し合おうという姿勢を示し、対等な関係を築くことが、尊重と平和な共存を生むから。

問5

【出】筆者の考えを正しく理解し、それを的確に説明できるかを問う。

【解】方言や、若者言葉など仲間内の言葉をつかったり、和製英語を使うこと。

問6

【出】筆者の主張の趣旨を整理しながら、議論の展開を正しくまとめ、的確に説明することが出来るかを問う。また自らの主張を述べる際に、感想にとどめるのではなく、自らの主張を筆者の主張と結びつけ、根拠をあげて論理的に表現することができるかを問う。